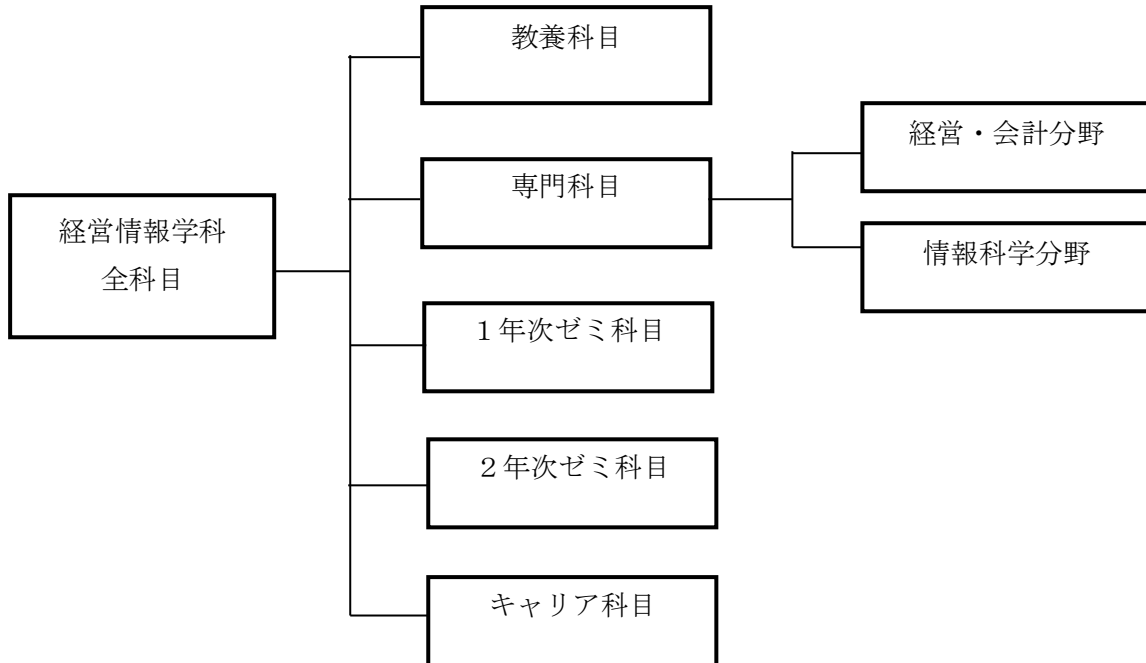


履修について

1. 授業科目の分野別構成

本学経営情報学科において、設置している授業科目の構成は次のとおりです。



2. 履修にあたって

上のように構成されている科目をどのように履修、つまり学んでいくかは学生一人一人が決めることになります。しかし、全く自由であるというわけではありません。そこにはルールがあり、そのルールのもとに学んで行くのです。それによって本学の教育の目標が達成され、皆さんが本学に入学した目的がかなえられるのです。

1) 単位

大学や短期大学の履修のルールは「単位」という言葉によって表すことになっています。1単位の授業科目は45時間の学修を必要とする内容で構成されていますので、講義、演習の時間以外に準備などの学習が必要です。

2) 必修科目

「ルール」の第1は、必ず履修して単位をとらなければならない、必修科目です。「必修科目」は6科目13単位(「教養科目」1科目2単位、「1年次ゼミ科目」2科目4単位、「2年次ゼミ科目」2科目6単位と「キャリア科目」1科目1単位)あり、卒業するためにはこれらを全部履修し、修得することが必要です。

3) 総単位と科目区分ごとの修得単位

「ルール」の第2は卒業に必要な単位数です。簡単には、以下の4つのことからなります。

ア.卒業には全部で64単位以上修得していること。

イ.「教養科目」は「教養必修科目」2単位の他に「教養選択科目」が10単位以上必要で、両方合わせて12単位以上修得していること。

ウ.「専門科目」は「専門選択科目」が42単位以上の修得が必要で、その中に経営・会計分野及び情報科学分野の各専門基礎科目4単位以上を含みます。専門基礎科目については各分野の説明に記述してあります。

エ.「1年次ゼミ科目」2科目4単位、「2年次ゼミ科目」2科目6単位を修得していること。

4) 「コース」制

「ルール」の第3は、コース制です。

ア.平成29年度以前に入学した学生

「専門選択科目」の履修方法には、学生それぞれの興味や関心、適性などによって選ぶことができる2つの「コース」があります。この「コース」は他の大学・短期大学などと違って、学生が自分で決めて選択します。1年次のときに考えた「コース」を2年次になるときに変更することも可能です。

専門科目のそれぞれの分野における修得が必要な単位数は、コース別に定められています。

イ.平成30年度以降に入学した学生

平成30年度以降は「専門選択科目」のコース制を廃止しました。

履修のこれまでの「ルール」をまとめたのが下の表です。

区 分	最低修得単位数			
教養科目	12単位以上（必修2単位を含む。）			
専門科目	※平成29年度以前に入学した学生		※平成30年度以降に入学した学生	
	選択科目 42単位以上 (両分野の各専門基礎科目4単位以上を含む)		選択科目 42単位以上 (両分野の科目各10単位以上ずつを含む。 両分野の各専門基礎科目4単位以上を含む。)	
	分 野	経営・会計コース		情報科学コース
	経営・会計	32単位以上		10単位以上
	情報科学	10単位以上	32単位以上	
1年次ゼミ科目	4単位			
2年次ゼミ科目	6単位			
合 計	64単位以上			
キャリア科目	1単位			

※ キャリア科目の単位については、卒業所要単位数に含めない。

5) 履修登録の上限

履修登録をするにあたって、2年次後期以降を除いて20単位が上限です。ただし、この上限に集中講義と出席免除申請科目、1年次ゼミ科目とスポーツ・身体科学、キャリア形成の基礎、2年次のゼミ科目と地域総合講座は含まれません。また、当該学期の前学期に修得した授業科目（集中講義、1年次ゼミ科目、地域総合講座を除く）の成績評価が「秀」「優」あわせて14単位以上の者は、その学期においては30単位を超えない範囲で履修登録をすることができます。

6) 履修取消制度

履修登録を行い数回の授業を受けたが、何らかの事情で履修をやめたい場合、取消ができる制度です。

時期：授業開始後4週終了時以降（学年暦を参照）

期間：1週間程度

手続：履修取消届を事務局窓口に提出

7) 簿記論Ⅲ・Ⅳについて ※平成30年度以降の入学生のみ対象

簿記論Ⅲ・Ⅳは2年生科目ですが、簿記3級（「日商簿記」、「全商簿記」、「全経簿記」のいずれか）を既に取得している1年生は、1年次に履修してよいこととしています。対象者は、資格の証明書にて判断します。